

病棟紹介

4階北病棟

4階北病棟 看護師長 石本 泰子



♡明るさと元気パワーで頑張っています♡

4階北病棟の主な診療科は、整形外科、小児科、産婦人科です。ここでは白衣の看護師とピンクの白衣の助産師が活気あふれる笑顔で昼夜問わず走り回っています。

整形外科では、年間600件以上の手術を行っており緊急入院にも対応しています。主に急性期の看護を行い、手術後の痛みをコントロールしながらベッドから早期に離床できるようにケアしています。また病気によって日常生活に多くの制限が強いられる患者さんの退院を見据えて、患者さんやご家族の意向も大切にしながらリハビリ担当者や栄養士、地域連携室と協働し多職種で支援しています。

小児科では主に乳幼児の季節性疾患(肺炎や腸炎等)や川崎病、血管炎、糖尿病等の治療を受ける患児の療養生活や成長を支え、ご家族の不安を少しでも解消できるように努めています。また外科をはじめ様々な診療科の手術を受ける小児の看護も行っており、回復の早い子供たちの笑顔に私たちも支えられています。さらに周産期領域では、当センターや東部の病院で専門的な治療を終えた小さな赤ちゃんが、安心して退院できるようにサポートしています。少子化、地域包括ケアの構築が進んできている昨今、地域の関係機関と連携をもちながら子どもたちを支える環境作りの一助となればと日々頑張っています。



産婦人科では、年間約300件の婦人科手術と年間450件の分娩を取り扱っています。健康な妊娠生活を送れるよう、助産師が診察を行っている助産師外来や母親学級で、個々のお母さんの思いを傾聴し安心して出産を迎えられるよう丁寧に寄り添って支援しています。特に不安定になりやすい産後のケアは重要です。母子が安心して生活できるように、地域へ繋ぐ役割を果たせるよう連携を推進しています。また昨年からは新たな事業である『産後2週間健診』や『重症乳腺炎予防ケア』に取り組んでいます。



緊張感の日々、患者さんの笑顔とあかちゃんと一緒に嬉しそうに退院されるお母さんご家族の様子を見ると、スタッフ一同元気と癒しを頂きます。専門性の高い看護の提供を心がけ、緊急時にも対応できるスキルを研鑽しながら、思いやりのあるあたたかな看護をチームで目指しています。

